

イスラーム・ジェンダー学科研主催 若手研究報告会

2022 10.23 Sun 13:30-

東京外国語大学 本郷サテライト 5階セミナールーム

[参加方法]参加をご希望の方は登録フォームより登録をお願いします。

[登録フォーム]<https://forms.gle/8HcidooR3YMFMLR17>

※対面参加をご希望の場合は10月16日まで、オンライン参加をご希望の場合は10月21日までにお申し込み下さい。

※オンライン参加をご希望の方には、開催前日までにZoomリンクをご登録いただいたメールアドレスにお送りします。

※会場参加をご希望の方はご連絡先の明記をお願いします。また、詳細についてはご登録いただいたメールアドレスに別途ご連絡差し上げます。

[お問い合わせ]イスラーム・ジェンダー学科研事務局 office★islam-gender.jp ※★は@に変更してください。

[主催]科研費基盤研究A「イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究」(代表:長沢栄治)

[共催]科研費基盤研究B「『アジア・ジェンダー史』の構築と『歴史総合』教材の開発」(代表:三成美保)

# 「良い兵士」とは?:

## イスラエル軍におけるジェンダーとエスニシティの交差

報告者 澤口 右樹 (東京大学大学院 博士後期課程)

1948年の建国以来、イスラエルは男女両性への兵役を課している。兵役によって国民(ネーション)を創出するミタリズムによって、国民と兵士は同一視される。この時、イスラエル軍の特権的な地位にある部隊の「良い兵士」はイスラエル国民の理想として表象され、市民生活で有利なキャリアを得られる。他方、その「兵士の質」とは価値中立的ではなく、「良い兵士」はイスラエル社会の多様な階層性によって構築/再生産されている。本報告はジェンダーとエスニシティの交差性(インターセクショナルリティ)に注目することで、「良い兵士」とはイスラエルの如何なる権力構造、階層性の産物であるかを議論する。



### 【プログラム】

司会:小野 仁美(東京大学)

報告(13:35-14:15)

「良い兵士」とは?:イスラエル軍におけるジェンダーとエスニシティの交差  
報告者:澤口 右樹 (東京大学大学院 博士後期課程)

コメント(14:15-14:25)

コメンテーター:保井 啓志(東京大学大学院 博士後期課程)

参考文献紹介(14:25-14:35)

佐藤 文香『女性兵士という難問—ジェンダーから問う紛争・軍隊の社会学』  
(慶應義塾大学出版会, 2022年)

休憩(14:35-14:45)

質疑応答(14:45-15:15)

参考文献

佐藤 文香『女性兵士という難問—ジェンダーから問う紛争・軍隊の社会学』  
(慶應義塾大学出版会, 2022年)



詳細はウェブページをご覧ください